

# 高崎経済大学地域政策学部規程

平成23年度

規程第89号

## 第1章 目的

(目的)

第1条 この規程は、高崎経済大学学則（平成23年度規程第1号。以下「学則」という。）に基づき、別に定めるもののほか、地域政策学部（以下「本学部」という。）において開設する授業科目、単位の認定手続き、その履修方法及び卒業に必要な単位並びに教育職員免許の取得に必要な課程（以下「教職課程」という。）、学芸員及び社会教育主事の資格取得にかかる課程について定める。

## 第2章 授業科目及び単位

(授業科目の種類及び単位数等)

第2条 本学部における授業科目の種類、単位数、配当学年次及び履修にあたっての指示事項は、別表第1のとおりとする。

(教職課程の授業科目及び単位)

第3条 教職課程の教科及び教職に関する科目の種類、単位数並びに履修にあたっての指示事項は、別表第2のとおりとする。

(授業科目等の公示)

第4条 各学期に開設する授業科目（授業題目を含む。以下同じ。）、単位数、授業内容、授業時間割及び担当教員については、学年度の初めまでに公示する。

(単位の計算)

第5条 単位の計算は、次の各号の定めるところによる。

- (1) 講義 15時間の講義をもって1単位とする。
- (2) 演習 15時間の講義をもって1単位とする。
- (3) 実習及び実技 30時間の実習及び実技をもって1単位とする。ただし、授業科目によっては、別に定める時間の実習及び実技をもって1単位とするものがある。
- (4) 統合科目 30時間の実技と講義をもって1単位とする。

(卒業に必要な単位)

第6条 学則第26条に規定する卒業に必要な単位数は、以下のとおりとする。

科 目		地域政策学科				地域づくり学科				観光政策学科					
		必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計		
基礎 教育 科目	教養 科目 群	基幹教養		6	6	24		6	6	24		6	6	24	
		一般教養（人文）		4				4				4			
		一般教養（社会）		4				4				4			
		一般教養（自然）		4				4				4			
	外国 語科 目群	英語または日本語	16		16	16		16	16		16		16		
		外国語（選択科目）													
	情報・統計科目群		2	2		4	2	2		4	2	2		4	
	専門 教育 科目	専門 導入 科目 群	専門導入A	4	4	8	4	4		8	4	4		8	
			専門導入B		16	16	16		16		16		16		16
		専門 基礎 科目 群	地域政策		12	12	24		12	24		12	24		24
地域づくり					12										
観光政策											12				
特別講義															
専門 発展 科目 群		地域政策		10	10	20		10	20		10	20		20	
		地域づくり					10								
		観光政策											10		
演習		10			10	10			10	10			10		
卒業論文		4			4	4			4	4			4		
自由選択単位				10	10			10	10			10	10		
合 計		36	62	38	136	36	62	38	136	36	62	38	136		

※実習科目及び外国語科目群の外国語（選択科目）は、自由選択単位とする。

※各科目群の合計単位数を超えて修得した単位は、自由選択単位とする。

### 第3章 履修方法及び履修制限

#### （履修方法）

第7条 授業科目の履修方法は、この規程及び履修しようとする者に適用される履修要綱並びに履修に関し教授会の議を経て学部長が定めた事項に従って行なわなければならない。

(履修登録)

第8条 授業科目を履修(単位を修得できなかった授業科目を再び履修(以下、「再履修」という。)する場合を含む。)し、所定の単位を修得するためには、定められた期日までに履修登録をしなければならない。

- 2 前項の履修登録のない授業科目の授業及び試験は、受けることができない。
- 3 第1項の履修登録については、定められた期日以降の変更を認めない。
- 4 第1項の履修登録については、その学期に限り有効とする。

(履修の制限)

第9条 次の各号のいずれかに該当するときは、その履修を認めない。

- (1) 同時に2科目以上重複して履修すること。
- (2) 単位修得済みの授業科目を履修すること。
- (3) 履修登録をしていない授業科目を履修すること。
- (4) 低学年次生が、高学年次生配当の授業科目を履修すること。
- (5) 履修上の指示事項に従わない履修方法であること。
- (6) 各学年次で履修することができる単位数(以下「最高履修単位数」という。)を超えて履修すること。

(履修単位数の制限)

第10条 各学年度における各学年次の最高履修単位数は、次のとおりとする。

(平成23年度以前の入学生に適用する。)

学 年	最高履修単位数
第1学年次	4 4
第2学年次	4 4
第3学年次	4 3
第4学年次	制限なし

(平成24年度の入学生に適用する。)

学 年	前期最高履修単位数	後期最高履修単位数	年間最高履修単位数
第1学年次	2 4	2 4	4 4
第2学年次	2 4	2 4	4 4
第3学年次	2 4	2 4	4 4
第4学年次	2 4	2 4	4 4

(平成25年度からの入学生に適用する。)

学 年	前期最高履修単位数	後期最高履修単位数	年間最高履修単位数
第1学年次	2 6	2 6	4 8
第2学年次	2 6	2 6	4 8
第3学年次	2 4	2 4	4 4
第4学年次	2 4	2 4	4 4

- 2 再履修科目は、最高履修単位数に含む。

3 教職課程の教職に関する科目及び教科に関する科目（卒業に必要な科目と兼ねて履修することができる科目を除く。）については、最高履修単位数に含めない。

4 学則第31条第1項の規定により履修した科目は、最高履修単位数に含む。

（他大学等における修得単位の認定）

第11条 学則第31条、第32条及び第33条による修得単位の認定については別に定める。

（編入学者等の単位認定）

第12条 学則第17条第1項により編入学を、学則第18条により転入学を許可された者の、入学前に他の大学又は短期大学等において修得した単位の単位認定については、別に定める。

（再入学者の単位認定）

第13条 再入学（地域政策学部を退学した者に限る。）した者の既修得単位の認定については、従前在学中に修得した授業科目の単位の範囲内とする。

2 単位認定申請方法及び単位の認定については、別に定める。

（復籍者の単位認定）

第14条 復籍した者の単位認定については、別に定める。

（転学部者の単位認定）

第15条 経済学部から転学部した者の既修得単位の認定については、別に定める。

（編入学者等への履修関連諸規程の適用）

第16条 編入学、転入学、再入学及び転学部をした者の履修については、当該者の属する学年次の在学生の例による。

2 復籍をした者の履修については、当該者の入学年次の例による。

（学科選択）

第16条の2 地域政策学科、地域づくり学科又は観光政策学科の選択及びその決定は、第1学年次末までに行う。ただし、編入学生、転入学生及び休学中の学生についてはこの限りではない。

（授業の欠席等）

第17条 学生は、次の各号のいずれかに該当する場合で授業を欠席しようとするとき、又は欠席したときは、学部長に当該授業を受講することができない理由を記した証明書を添付した授業欠席届を提出することができる。

（1）病気又は負傷により授業に出席することが困難であるとの医師の証明があるとき。

- (2) 配偶者又は3親等内の親族が死亡したとき。
- (3) 教育実習等（当該実習校で行う実習の事前研修を含む。）のとき。
- (4) 公共交通機関の遅れによるとき。
- (5) その他大学が認めた理由のとき。

2 授業欠席届は、授業の欠席理由を明らかにするものであって、その取扱いは欠席した授業科目の担当教員の判断するところによる。ただし、学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に規定する感染症に罹患した者については、別に定めるところにより取り扱うものとする。

#### 第4章 試験及び成績評価

（必要出席時間数と単位修得試験）

第18条 履修した授業科目の単位を修得するためには、その授業科目の授業に3分の2以上出席し、次条に定める試験を受験し、その試験に合格しなければならない。

（試験の方法及び種類）

第19条 試験は、筆答（報告を含む。）又は口頭によって行う。

2 試験は、定期試験（期末試験）、追試験、再試験、平常試験及び卒業論文試験とする。

（試験時間）

第20条 定期試験、追試験及び再試験の試験時間は、原則として70分とする。

2 科目によっては、前項の時間を変更して行うことがある。

（受験の心得）

第21条 第19条の試験（卒業論文試験を除く。）を受験する者は、次の各号に従い受験しなければならない。

- (1) 受験資格者名簿により、指定された試験室及び座席において学生証を机上に掲示すること。
- (2) 試験室では、全て試験監督者の指示に従い静かに受験すること。
- (3) 試験開始後30分までは、試験監督者の許可を得て指定された試験室に入室することができる。
- (4) 試験開始後30分を経過しなければ、退室することはできない。
- (5) 答案用紙に学生番号及び氏名の記入のない者の答案は、これを無効とする。
- (6) 答案用紙を提出しなかった者は、当該試験を受験しなかったものとする。

（受験の制限）

第22条 次の各号のいずれかに該当するときは、第19条による試験を受験することができない。

- (1) 当該学年度の履修登録をしていないとき。
  - (2) 受験に際し有効な学生証を携帯していないとき。
  - (3) 休学及び停学中のとき。
  - (4) 試験開始後30分を経過してから指定された試験場に到着したとき。
  - (5) 不正行為等により受験停止の処分を受けたとき。
- (不正行為)

第23条 試験室において試験監督者の指示に従わないなどの不正な行為があったときは、退室を命じ、処分を行うことがある。

2 前項の処分を行ったときは、これを公表する。

(成績評価)

第24条 成績の評価は、第19条の試験及び授業の出席状況等を総合して行う。

(追試験及び再試験)

第25条 追試験及び再試験の実施については、別に定める。

(卒業論文試験)

第26条 卒業論文試験の実施については、別に定める。

## 第5章 卒業

(卒業認定の時期)

第27条 学則第41条に規定する卒業認定の時期は、9月又は3月とする。

## 第6章 教職課程

(免許状の種類)

第28条 本学部で取得できる教育職員免許状（以下「免許状」という。）は、次のとおりである。

学 科	免許状の種類	免許教科
地域政策学科	中学校教諭一種免許状	社 会
	高等学校教諭一種免許状	公 民
地域づくり学科	高等学校教諭一種免許状	公 民
観光政策学科	高等学校教諭一種免許状	地理歴史

(免許状を取得するための基礎資格、最低修得単位数等)

第29条 免許状を取得しようとする者は、次表に定める基礎資格を備え、教育職員

免許法（昭和24年法律第147号）及び教育職員免許法施行規則（昭和24年文部省令第26号。以下「免許法施行規則」という。）で定める教科に関する科目及び教職に関する科目の単位について、本学部における最低修得単位数以上の単位数を修得したほかに、免許法施行規則第66条の6で定める科目の単位数を修得しなければならない。

（平成24年度以前の入学生に適用する。）

免許状の種類	免許教科	基礎資格	本学部における最低修得単位数			免許法施行規則第66条の6で定める科目の単位数
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科または教職に関する科目	
中学校教諭一種免許状	社会	学士の学位を有すること。	34	35	1	10
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	学士の学位を有すること。	32	27		10
	公民	学士の学位を有すること。	32	27		10

（平成25年度以降の入学生に適用する。）

免許状の種類	免許教科	基礎資格	本学部における最低修得単位数			免許法施行規則第66条の6で定める科目の単位数
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科または教職に関する科目	
中学校教諭一種免許状	社会	学士の学位を有すること。	24	35	1	8
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	学士の学位を有すること。	20	27	12	8
	公民	学士の学位を有すること。	20	27	12	8

（平成29年度以降の入学生に適用する。）

免許状の種類	免許教科	基礎資格	本学部における最低修得単位数			免許法施行規則第66条の6で定める科目の単位数
			教科に関する科目	教職に関する科目	教科または教職に関する科目	
中学校教諭一種免許状	社会	学士の学位を有すること。	20	35	5	8
高等学校教諭一種免許状	地理歴史	学士の学位を有すること。	20	27	12	8
	公民	学士の学位を有すること。	20	27	12	8

（平成31年度以降の入学生に適用する。）

免許状の種類	免許教科	基礎資格	本学部における最低修得単位数		免許法施行規則第66条の6で定める科目の単位数
			教科及び教職に関する科目	大学が独自に設定する科目	
中学校教諭一種免許状	社会	学士の学位を有すること。	55	5	8

高等学校教諭 一種免許状	地理歴史	学士の学位を 有すること。	4 7	1 2	8
	公 民	学士の学位を 有すること。	4 7	1 2	8

(令和4年度以降の入学生に適用する。)

免許状の種類	免許教科	基礎資格	本学部における最低修得単位数	
			教科及び教職に 関する科目	免許法施行規則第66条の 6で定める科目
中学校教諭 一種免許状	社 会	学士の学位を 有すること。	6 2	8
高等学校教諭 一種免許状	地理歴史	学士の学位を 有すること。	5 9	8
	公 民	学士の学位を 有すること。	5 9	8

## 第7章 学芸員及び社会教育主事の資格取得にかかる課程

(取得要件)

第30条 学芸員資格を取得しようとする者は、別表第3に掲げる学芸員資格に関する科目及び最低修得単位数を修得しなければならない。

2 社会教育主事資格を取得しようとする者は、別表第4に掲げる社会教育主事資格に関する科目及び最低修得単位数を修得しなければならない。

## 第8章 雑則

(委任)

第31条 この規程の施行について必要な事項は、学部長が定める。

(規程の改廃)

第32条 この規程の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

## 附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

ただし、平成15年度から平成17年度までの入学生の卒業に必要な単位数は、第6条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

科 目	地域政策学科	地域づくり学科
-----	--------	---------



		必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計
教養 科目	基礎教養科目		18		18		18		18
	外国語・情報リテラシー科目	8	8		16	8	8		16
専門 基礎 科目	地域科学基礎科目	2	6		8	2	6		8
	地域政策基礎科目	2	10		12	2	6		8
	地域づくり基礎科目	2	6		8	2	10		12
総合科目			4		4		4		4
専門応用科目			44		44		44		44
実習科目			1		1		1		1
演習		4			4	4			4
卒業論文		4			4	4			4
自由選択単位				10	10			10	10
合 計		22	97	10	129	22	97	10	129

ただし、平成18年度から平成19年度までの入学生の卒業に必要な単位数は、第6条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

科 目	地域政策学科				地域づくり学科				観光政策学科				
	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	
教養 科目	基礎教養科目		18		18		18		18		18		18
	外国語・情報リテラシー科目	8	8		16	8	8		16	8	8		16
専門 基礎 科目	地域政策基礎科目	2	10		12	2	6		8	2	6		8
	地域づくり基礎科目	2	6		8	2	10		12	2	6		8
	観光政策基礎科目	2	6		8	2	6		8	2	10		12
総合科目			4		4		4		4		4		4
専門応用科目			44		44		44		44		44		44
実習科目			1		1		1		1		1		1
演習		4			4	4			4	4			4
卒業論文		4			4	4			4	4			4
自由選択単位				10	10			10	10			10	10
合 計		22	97	10	129	22	97	10	129	22	97	10	129

ただし、平成20年度から平成21年度までの入学生の卒業に必要な単位数は、第6条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

科 目	地域政策学科				地域づくり学科				観光政策学科				
	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	
教養 科目	基礎教養科目		18		18		18		18		18		18
	外国語・情報リテラシー科目	10	6		16	10	6		16	10	6		16
専門 基礎 科目	地域政策基礎科目	2	10		12	2	6		8	2	6		8
	地域づくり基礎科目	2	6		8	2	10		12	2	6		8
	観光政策基礎科目	2	6		8	2	6		8	2	10		12
総合科目			4		4		4		4		4		4
専門応用科目			44		44		44		44		44		44
実習科目			1		1		1		1		1		1
演習		4			4	4			4	4			4
卒業論文		4			4	4			4	4			4
自由選択単位				10	10			10	10			10	10
合 計		24	95	10	129	24	95	10	129	24	95	10	129

ただし、平成22年度から平成24年度までの入学生の卒業に必要な単位数は、第6条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

科 目	地域政策学科				地域づくり学科				観光政策学科				
	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	必修	選択 必修	自由 選択	合計	
教養 科目	基礎教養科目		18		18		18		18		18		18
	外国語・情報リテ ラシー科目	10	6		16	10	6		16	10	6		16
専門 基礎 科目	地域政策基礎科目	2	10		12	2	6		8	2	6		8
	地域づくり基礎科 目	2	6		8	2	10		12	2	6		8
	観光政策基礎科目	2	6		8	2	6		8	2	10		12
総 合 科 目		4		4		4		4		4		4	
専門応用科目		44		44		44		44		44		44	
演 習	4			4	4			4	4			4	
卒 業 論 文	4			4	4			4	4			4	
自由選択単位 (実習科目含む)			11	11			11	11			11	11	
合 計	24	94	11	129	24	94	11	129	24	94	11	129	

附 則（平成23年11月30日第138号）

この改正は、平成23年11月30日に施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則（平成25年1月9日第32号）

この改正は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平成25年7月17日第10号）

この改正は、平成25年7月17日に施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則（平成25年7月17日第11号）

- この改正は、平成25年7月17日に施行し、平成25年4月1日から適用する。
- 平成24年度以前の入学者については、第5条の規定にかかわらず、従前の例による。
- 平成20年度以降の入学者は、別表第1の第6及び第7に掲げる科目表にかかわらず、平成25年度以降の入学生に適用する科目表（別表第1の第8）のうち、「市民生活と法」「グループ研究Ⅰ」「グループ研究Ⅱ」を履修することができる。「市民生活と法」は、別表第1の第6及び第7に掲げる専門応用科目において、地域政策学科では地域行政・地方自治科目、地域づくり学科及び観光政策学科では専門応用関連科目とする。また、「グループ研究Ⅰ」「グループ研究Ⅱ」は、全学科ともに自由選択科目とする。

- 4 編入学者及び転入学者が履修すべき授業科目、単位の認定手続き、その履修方法及び卒業に必要な単位については、当該者の属する年次と同一年次に属する者の例による。

附 則（平成26年3月4日第26号）

この改正は、平成26年3月4日から施行する。ただし、この改正による改正後の別表第1の第6の表は平成21年4月1日から、改正後の別表第1の第7の表は平成24年4月1日から、改正後の別表第1の第8の表は平成25年4月1日から適用する。

附 則（平成26年3月19日第34号）

- 1 この改正は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1の規定は、平成26年度入学生に係る授業科目、配当年次、単位数及び履修方法について適用し、平成25年度までの入学生に係る授業科目、配当年次、単位数及び履修方法については、それぞれ附則別表第1に定めるところによる。
- 3 改正後の別表第2、別表第3及び別表第4の規定は、平成25年度以降の入学生に係る教職科目、学芸員資格に関する科目及び社会教育主事資格に関する科目の授業科目、単位数及び履修方法について適用し、平成24年度までの入学生に係る教職科目、学芸員資格に関する科目及び社会教育主事資格に関する科目の授業科目、単位数及び履修方法については、それぞれ附則別表第2、附則別表第3及び附則別表第4に定めるところによる。
- 4 編・転入生に関しては、その該当年次の授業科目の種類及び単位、教職課程の授業科目及び単位、学芸員の資格に関する科目及び社会教育主事の資格に関する科目が適用される。

附 則（平成27年3月19日第118号）

この改正は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成29年3月2日第35号）

- 1 この改正は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1の規定は、平成26年度以降の入学生に適用する。この場合にお

いて、平成28年度までの入学生については、「General English I」とあるのは「インターネット・イングリッシュ I」と、「General English II」とあるのは「インターネット・イングリッシュ II」と、「Business English I」とあるのは「オーラル・イングリッシュ I」と、「Business English II」とあるのは「オーラル・イングリッシュ II」と、「General English III」とあるのは「プラクティカル・イングリッシュ I」と、「General English IV」とあるのは「プラクティカル・イングリッシュ II」と、「Business English III」とあるのは「プレゼンテーション・イングリッシュ I」と、「Business English IV」とあるのは「プレゼンテーション・イングリッシュ II」と、「TOEIC Basic」とあるのは「TOEIC 入門」と、「TOEIC Intermediate」とあるのは「TOEIC 中級」と読み替えるものとし、読み替え後の「プレゼンテーション・イングリッシュ I」及び「プレゼンテーション・イングリッシュ II」の配当開始年次は3年とする。

3 改正後の別表第2の規定は、平成29年度以降の入学生に係る教職科目に関する科目の授業科目、単位数及び履修方法について適用し、平成28年度までの入学生に係る教職科目に関する科目の授業科目、単位数及び履修方法については、附則別表第2に定めるところによる。

4 改正後の第28条の規定は、平成29年度以降の入学生に適用し、平成28年度までの入学生については、なお従前の例による。

附 則（平成30年3月2日第22号）

1 この改正は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成25年度の入学生は、平成26年度以降の入学生に適用する科目表（別表第1）のうち、「観光学概論」を履修することができる。

3 平成25年度から平成29年度までの入学生の卒業に必要な単位数は、第6条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

科 目		地域政策学科				地域づくり学科				観光政策学科				
		必修	選択必修	自由選択	合計	必修	選択必修	自由選択	合計	必修	選択必修	自由選択	合計	
基礎教育科目	教養科目群	基幹教養		6	6	24		6	6	24		6	6	24
		一般教養(人文)		4				4				4		
		一般教養(社会)		4				4				4		
		一般教養(自然)		4				4				4		



と、「日本語（文章表現）Ⅰ」とあるのは「文章表現Ⅰ」と、「日本語（文章表現）Ⅱ」とあるのは「文章表現Ⅱ」と、「日本語（文献購読）Ⅰ」とあるのは「専門読解」と、「日本語（文献購読）Ⅱ」とあるのは「口頭表現」と読み替えることとする。

3 改正後の別表第4の規定は、令和元年度以降の入学生に係る社会教育主事資格に関する科目及び最低修得単位数について適用し、平成30年度までの入学生に係る社会教育主事資格に関する科目及び最低修得単位数については、附則別表第4に定めるところによる。この場合において、令和元年度の入学生については、「社会教育論」とあるのは「地方分権と社会教育」と、「地域社会教育支援論」とあるのは「地域社会教育計画論」と、「社会教育演習」とあるのは「公施設経営論」と、「社会教育課題研究」とあるのは「子ども福祉と社会教育」と読み替えることとする。

附 則（令和3年3月3日第13号）

この改正は、令和3年3月3日から施行する。ただし、改正後の別表第1の規定は令和3年4月1日から適用する。

附 則（令和4年3月2日第46号）

改正 令和6年3月4日第20号

（施行期日）

1 この改正は、令和4年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 改正後の別表第2の規定は、令和4年度以降の入学生に係る教職課程の教科及び教職に関する科目の種類、単位、単位数並びに履修にあたっての指示事項について適用し、平成31年度から令和3年度までの入学生に係る教職課程の教職に関する科目及び教科に関する科目の種類、単位、単位数並びに履修にあたっての指示事項については、附則別表に定めるところによる。

附則別表（附則第2項関係）

（1）教科及び教職に関する科目

① 地域政策学科 中学校教諭一種免許状（社会）

科目区分	各科目に含めること が必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		摘要
				必修	選択	
	日本史・外国史	日本史（古代～近世）	1・2・3・4	2		

教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項		日本史（近現代）	1・2・3・4	2		
			外国史	2・3・4	2		
			歴史学	1・2・3・4			2
			考古学	1・2・3・4			2
			アメリカ社会と歴史	2・3・4			2
			国際交流史	2・3・4			2
			地域史史料購読	2・3・4			2
			日本地域史	2・3・4			2
			地域社会史	2・3・4			2
			現代欧州の歴史と構造	3・4			2
			国際政治史	3・4			2
			アジアの文化と観光	3・4			2
			オセアニアの文化と観光	3・4			2
			地理学	1・2・3・4	2		
			自然地理学	1・2・3・4	2		
		地誌	2・3・4	2			
		地球環境学	1・2・3・4			2	
		観光地理学	1・2・3・4			2	
		地理情報システム論	2・3・4			2	
		ランドスケープ論	2・3・4			2	
		都市地理学	2・3・4			2	
		環境科学	2・3・4			2	
		人類生態学	2・3・4			2	
		観光リゾート計画論	2・3・4			2	
		農村地理学	2・3・4			2	
		民族問題論	3・4			2	
		アーバンツーリズム	3・4			2	
		エコツーリズム	3・4			2	
		地域振興論	3・4			2	
		「法律学、政治学」	現代政治論	2・3・4	2		
			現代の法思想	2・3・4	2		
			公共政策論	2・3・4			2

	「社会学、経済学」	民法総則	2・3・4		2	
		理論社会学	2・3・4	2		
		開発経済学	2・3・4		2	
		財政学	2・3・4		2	
		流通経済論	3・4		2	
		雇用政策論	3・4		2	
		地方財政論	3・4		2	
	「哲学、倫理学、宗教学」	社会思想	2・3・4	2		
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法 I	1・2・3・4	2		
		社会科・地理歴史科教育法 II	1・2・3・4	2		
		社会科・公民科教育法 I	1・2・3・4	2		
		社会科・公民科教育法 II	1・2・3・4	2		
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②
教育学			1・2・3・4		②	
教育と社会			1・2・3・4		2	
教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職原論	1・2・3・4	2		
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育経営論	1・2・3・4		②	1 科目選 択必修
		教育政策論	2・3・4		②	
		生涯学習概論	1・2・3・4		2	
		地域づくり教育論	2・3・4		2	
		教育制度論	1・2・3・4		2	
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	1・2・3・4		②	1 科目選 択必修
		発達心理学	1・2・3・4		②	



	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2		
道徳、総合的な学習の時間帯の指導法及び生徒指導、教育相談等に 関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	1・2・3・4	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2		
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 I	4	5		
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目		介護等体験実習	2・3・4	1		
		教職基礎演習	2・3・4		2	

② 地域政策学科 高等学校教諭一種免許状（公民）

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		摘要
				必修	選択	
の 指 導 法 に 関 する 教 科	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を	現代政治論	2・3・4	2		
		現代の法思想	2・3・4	2		
		公共政策論	2・3・4		2	

	含む。)」	地方自治論	2・3・4		2	
		民法総則	2・3・4		2	
		行政法総論	2・3・4		2	
		政治過程論	3・4		2	
		行政法各論	3・4		2	
		地方自治法	3・4		2	
		物権法	3・4		2	
		債権法	3・4		2	
		環境法	3・4		2	
		「社会学、経済学 (国際経済を含 む。)」	理論社会学	2・3・4	2	
	現代経済学		2・3・4	2		
	都市経済学		2・3・4		2	
	開発経済学		2・3・4		2	
	財政学		2・3・4		2	
	文化社会学		2・3・4		2	
	都市社会学		3・4		2	
	アジア経済論		3・4		2	
	流通経済論		3・4		2	
	雇用政策論		3・4		2	
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理 学」	社会思想	2・3・4	2		
各教科の指導法（情報機器 及び教材の活用を含 む。）」	社会科・公民科教育法 I	1・2・3・4	2			
	社会科・公民科教育法 II	1・2・3・4	2			
教育の基礎的	教育の理念並びに教育に関 する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②	1科目選択 必修
		教育学	1・2・3・4		②	
		教育と社会	1・2・3・4		2	

	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	1・2・3・4		②	1科目選択
		教育政策論	2・3・4		②	必修
		生涯学習概論	1・2・3・4		2	
		地域づくり教育論	2・3・4		2	
		教育制度論	1・2・3・4		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1科目選択
		発達心理学	1・2・3・4		②	必修
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2		
道徳、総合的な学習の時間等の科目	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2		
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4		⑤	1科目選択
		教育実習Ⅱ	4		③	必修

	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目		道徳教育論	1・2・3・4		2	
		教職基礎演習	2・3・4		2	

③ 地域づくり学科 高等学校教諭一種免許状（公民）

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		摘要
				必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	現代政治論	2・3・4	2		
		現代の法思想	2・3・4	2		
		行政学	1・2・3・4		2	
		比較憲法論	1・2・3・4		2	
		法哲学	1・2・3・4		2	
		犯罪と法	1・2・3・4		2	
		労働と法	1・2・3・4		2	
		地域政策論	1・2・3・4		2	
		地方政治論	1・2・3・4		2	
		文化政策論	1・2・3・4		2	
		観光政策論	1・2・3・4		2	
		公共政策論	2・3・4		2	
		地方自治論	2・3・4		2	
		民法総則	2・3・4		2	
		行政法総論	2・3・4		2	
		政治過程論	3・4		2	
		地方自治法	3・4		2	
		債権法	3・4		2	
		環境政策論	3・4		2	
		現代経済学	2・3・4	2		
		地域マーケティング	2・3・4		2	
		環境経済学	2・3・4		2	
		文化社会学	2・3・4		2	
		コミュニティ振興論	2・3・4		2	

		コミュニティビジネス論	3・4		2	
		環境社会学	3・4		2	
		家庭福祉論	3・4		2	
		環境教育論	3・4		2	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	社会心理学	2・3・4	2		
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・公民科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2		
		社会科・公民科教育法Ⅱ	1・2・3・4	2		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②	1科目選択必修
		教育学	1・2・3・4		②	
		教育と社会	1・2・3・4		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	1・2・3・4		②	1科目選択必修
		教育政策論	2・3・4		②	
		生涯学習概論	1・2・3・4		2	
		地域づくり教育論	2・3・4		2	
		教育制度論	1・2・3・4		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1科目選択必修
		発達心理学	1・2・3・4		②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2		

	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2		
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2		
道徳、 教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4		⑤	1科目選択必修
		教育実習Ⅱ	4		③	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目		道徳教育論	1・2・3・4		2	
		教職基礎演習	2・3・4		2	

④ 観光政策学科 高等学校教諭一種免許状（地理・歴史）

科目区分	各科目に含める ことが必要な 事項	授業科目	配当年次	単位数		摘要
				必修	選択	
教科及び 教科に関	日本史	日本史（古代～近世）	1・2・3・4	2		
		日本史（近現代）	1・2・3・4	2		

		歴史学	1・2・3・4		2	
		考古学	1・2・3・4		2	
		地域史史料購読	2・3・4		2	
		日本地域史	2・3・4		2	
		地域社会史	2・3・4		2	
	外国史	外国史	2・3・4	2		
		アジアの文化と観光	3・4		2	
		オセアニアの文化と観光	3・4		2	
	人文地理学・自然地理学	地理学	1・2・3・4	2		
		自然地理学	1・2・3・4	2		
		地域統計論	1・2・3・4		2	
		観光地理学	1・2・3・4		2	
		民族問題論	3・4		2	
		地理情報システム論	2・3・4		2	
		ランドスケープ論	2・3・4		2	
		都市地理学	2・3・4		2	
		農村地理学	2・3・4		2	
		地域調査法	2・3・4		2	
		産業立地論	3・4		2	
		アーバンツーリズム	3・4		2	
		エコツーリズム	3・4		2	
		地域振興論	3・4		2	
	地誌	地誌	2・3・4	2		
		観光リゾート計画論	2・3・4		2	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2		
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	1・2・3・4	2		
	教育の基礎的	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②
教育学			1・2・3・4		②	
教育と社会			1・2・3・4		2	

	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	1・2・3・4		②	1 科目選 択必修
		教育政策論	2・3・4		②	
		生涯学習概論	1・2・3・4		2	
		地域づくり教育論	2・3・4		2	
		教育制度論	1・2・3・4		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1 科目選 択必修
		発達心理学	1・2・3・4		②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2		
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2		
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2		
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		



	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4		⑤	1科目選択必修
		教育実習Ⅱ	4		③	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目		道徳教育論	1・2・3・4		2	
		教職基礎演習	2・3・4		2	

(2) 免許法施行規則第66条の6に定める科目

同条に定める科目は、次のとおり指定する。

免許法施行規則第66条の6に定める科目	左記に対応する科目として指定する科目	単位数	摘要
日本国憲法	憲法	2	
体育	スポーツ科学Ⅰ	1	「スポーツ科学Ⅰ、スポーツ科学Ⅱ」 又は「スポーツ科学」のいずれかを 選択
	スポーツ科学Ⅱ	1	
	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	Business EnglishⅠ	2	1科目選択
	Business EnglishⅡ	2	
情報機器の操作	情報基礎Ⅰ	2	1科目選択
	情報基礎Ⅱ	2	
	プログラミング	2	
	データ分析	2	
	データベース	2	

附 則（令和4年3月19日第50号）

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（令和5年3月19日第56号）

この改正は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（令和6年3月4日第19号）

この改正は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（令和6年3月4日第20号）

この改正は、令和6年4月1日から施行する。

附則別表第1（平成26年4月1日施行の附則第2項関係）

第1 平成11年度以前の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第2 平成12年度の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第3 平成13年度及び平成14年度の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第4 平成15年度から平成17年度の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第5 平成18年度以降の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第6 平成20年度以降の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第7 平成22年度以降の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

第8 平成25年度以降の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

（略）

附則別表第2（平成26年4月1日施行の附則第3項関係）

第1 平成13年度以前の入学生に適用する教職課程の科目

（略）

第2 平成14年度の入学生に適用する教職課程の科目

（略）

第3 平成15年度から平成17年度の入学生に適用する教職課程の科目

（略）

第4 平成18年度以降の入学生に適用する教職課程の科目  
(略)

附則別表第2 (平成29年4月1日施行の附則第3項関係)

第5 平成25年度以降の入学生に適用する教職課程の科目  
(略)

附則別表第2 (平成31年4月1日施行の附則第2項関係)

第6 平成29年度以降の入学生に適用する教職課程の科目  
(略)

附則別表第3 (平成26年4月1日施行の附則第3項関係)

第1 平成15年度から平成23年度の入学生に適用する学芸員資格に関する科目及び最低  
修得単位数  
(略)

第2 平成24年度以降の入学生(編入学生含む)に適用する学芸員資格に関する科目及び  
最低修得単位数  
(略)

附則別表第4 (平成26年4月1日施行の附則第3項関係)

第1 平成15年度以降の入学生に適用する社会教育主事任用資格に関する科目及び最低修  
得単位数  
(略)

附則別表第4 (令和2年4月1日施行の附則第2項関係)

第2 平成25年度以降の入学生に適用する社会教育主事資格に関する科目及び最低修得単  
位数  
(略)

別表第1（第2条関係）

平成26年度以降の入学生に適用する授業科目、配当年次及び単位数

1 基礎教育科目（全学科共通）

（1）教養科目群

区分	科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
基幹教養	法学	1・2・3・4		2	基幹教養から6単位以上、一般教養の人文・社会・自然の各分野からそれぞれ4単位以上を含め24単位以上選択
	政治学	1・2・3・4		2	
	行政学	1・2・3・4		2	
	経済学	1・2・3・4		2	
	経営学	1・2・3・4		2	
	社会学	1・2・3・4		2	
	地理学	1・2・3・4		2	
	公共哲学	1・2・3・4		2	
	歴史学	1・2・3・4		2	
一般教養（人文）	哲学	1・2・3・4		2	令和5年度以降の入学生は履修できない 令和5年度以降の入学生は履修できない 令和5年度新規開講（「英米文学」又は「ヨーロッパ文学」を修得済みの者は履修できない）
	倫理学	1・2・3・4		2	
	心理学	1・2・3・4		2	
	民俗学	1・2・3・4		2	
	宗教学	1・2・3・4		2	
	考古学	1・2・3・4		2	
	日本史（古代～近世）	1・2・3・4		2	
	日本史（近現代）	1・2・3・4		2	
	西洋史	1・2・3・4		2	
	東洋史	1・2・3・4		2	
	言語学	1・2・3・4		2	
	日本文学	1・2・3・4		2	
	英米文学	1・2・3・4		2	
	ヨーロッパ文学	1・2・3・4		2	
	海外文学	1・2・3・4		2	
	街と建築	1・2・3・4		2	
	美学	1・2・3・4		2	
	音楽論	1・2・3・4		2	
	西洋美術史	1・2・3・4		2	
	東洋美術史	1・2・3・4		2	
発達心理学	1・2・3・4		2		

一般教養 (社会)	憲法	1・2・3・4		2	
	比較憲法論	1・2・3・4		2	
	法哲学	1・2・3・4		2	
	ミクロ経済学	1・2・3・4		2	
	マクロ経済学	1・2・3・4		2	
	日本経済論	1・2・3・4		2	
	社会保障論	1・2・3・4		2	
	会計学	1・2・3・4		2	
	教育学	1・2・3・4		2	
	ジェンダー論	1・2・3・4		2	
	犯罪と法	1・2・3・4		2	
	労働と法	1・2・3・4		2	
一般教養 (自然)	数学	1・2・3・4		2	令和6年度以降の入学生は履修できない 「スポーツ科学Ⅱ」と連続して履修する 令和6年度以降の入学生は履修できない 「スポーツ科学Ⅰ」と連続して履修する 令和6年度新規開講(「スポーツ科学Ⅰ」又は「スポーツ科学Ⅱ」を修得済みの者は履修できない)
	応用数学	1・2・3・4		2	
	自然人類学	1・2・3・4		2	
	生態系と環境	1・2・3・4		2	
	自然地理学	1・2・3・4		2	
	宇宙と地球	1・2・3・4		2	
	地球環境学	1・2・3・4		2	
	物質と環境	1・2・3・4		2	
	生命科学	1・2・3・4		2	
	食と健康	1・2・3・4		2	
	スポーツ科学Ⅰ	1・2・3・4		1	
	スポーツ科学Ⅱ	1・2・3・4		1	
スポーツ科学	1・2・3・4		2		

(2) 外国語科目群

区分	科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
英語または日本語	General English I	1	2		日本人学生は英語16単位、留学生は日本語16単位が必修  (留学生) (留学生) (留学生) (留学生) (留学生)
	General English II	1	2		
	Business English I	1	2		
	Business English II	1	2		
	General English III	2	2		
	General English IV	2	2		
	Business English III	2	2		
	Business English IV	2	2		
	大学生活のための日本語	1	2		
	専門聴解	1	2		
	日本事情Ⅰ	1	2		
	日本事情Ⅱ	1	2		
	文章表現Ⅰ	1	2		

文章表現Ⅱ	1	2		(留学生)
専門読解	2	2		(留学生)
口頭表現	2	2		(留学生)
ビジネス日本語Ⅰ	2		2	(留学生)
ビジネス日本語Ⅱ	3		2	(留学生)
ビジネス日本語Ⅲ	3		2	(留学生)
Language Learner DevelopmentⅠ	1・2・3・4		2	
Language Learner DevelopmentⅡ	1・2・3・4		2	
Oral CommunicationⅠ	1・2・3・4		2	
Oral CommunicationⅡ	1・2・3・4		2	
Advanced Oral CommunicationⅠ	1・2・3・4		2	
Advanced Oral CommunicationⅡ	1・2・3・4		2	
English Language and CultureⅠ	1・2・3・4		2	
English Language and CultureⅡ	1・2・3・4		2	
GrammarⅠ	1・2・3・4		2	
GrammarⅡ	1・2・3・4		2	
WritingⅠ	1・2・3・4		2	
WritingⅡ	1・2・3・4		2	
ReadingⅠ	1・2・3・4		2	
ReadingⅡ	1・2・3・4		2	
ListeningⅠ	1・2・3・4		2	
ListeningⅡ	1・2・3・4		2	
DiscussionⅠ	1・2・3・4		2	
DiscussionⅡ	1・2・3・4		2	
Advanced DiscussionⅠ	1・2・3・4		2	
Advanced DiscussionⅡ	1・2・3・4		2	
English for Academic PurposesⅠ	1・2・3・4		2	
English for Academic PurposesⅡ	1・2・3・4		2	
World IssuesⅠ	1・2・3・4		2	
World IssuesⅡ	1・2・3・4		2	
Critical ThinkingⅠ	1・2・3・4		2	
Critical ThinkingⅡ	1・2・3・4		2	
TOEIC Basic	1・2・3・4		2	
TOEIC Intermediate	1・2・3・4		2	
TOEIC Advanced	1・2・3・4		2	
TOEFLⅠ	1・2・3・4		2	
TOEFLⅡ	1・2・3・4		2	
TOEFL Advanced	1・2・3・4		2	
海外語学研修(英語)Ⅰ	1・2・3・4		2	
海外語学研修(英語)Ⅱ	1・2・3・4		2	
海外語学研修(中国語)Ⅰ	1・2・3・4		2	
TOEIC 認定Ⅰ	1・2・3・4		2	
TOEIC 認定Ⅱ	1・2・3・4		2	
TOEIC 認定Ⅲ	1・2・3・4		2	
TOEIC 認定Ⅳ	1・2・3・4		2	
TOEIC 初級	1・2・3・4		2	
英語資格試験対策Ⅰ	1・2・3・4		2	
英語資格試験対策Ⅱ	1・2・3・4		2	
ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4		2	ドイツ語、フランス語、中国語、
ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4		2	スペイン語、イタリア語、ハンダ
ドイツ語Ⅲ	1・2・3・4		2	ルについては、各言語ともに

外国語 ( 選 択 )	ドイツ語Ⅳ	2・3・4		2	Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの順で段階的に履修・修得する
	フランス語Ⅰ	1・2・3・4		2	
	フランス語Ⅱ	1・2・3・4		2	
	フランス語Ⅲ	2・3・4		2	
	フランス語Ⅳ	2・3・4		2	
	中国語Ⅰ	1・2・3・4		2	
	中国語Ⅱ	1・2・3・4		2	
	中国語Ⅲ	2・3・4		2	
	中国語Ⅳ	2・3・4		2	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3・4		2	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4		2	
	スペイン語Ⅲ	2・3・4		2	
	スペイン語Ⅳ	2・3・4		2	
	イタリア語Ⅰ	1・2・3・4		2	
	イタリア語Ⅱ	1・2・3・4		2	
	イタリア語Ⅲ	2・3・4		2	
	イタリア語Ⅳ	2・3・4		2	
	ハンブルⅠ	1・2・3・4		2	
	ハンブルⅡ	1・2・3・4		2	
	ハンブルⅢ	2・3・4		2	
ハンブルⅣ	2・3・4		2		

(3) 情報・統計科目群

区分	科目	配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
情報 統計 科目 群	情報基礎Ⅰ	1	2		「情報基礎Ⅰ」を必修とし、その他に選択科目の中から2単位以上選択
	情報基礎Ⅱ	1・2・3・4		2	
	情報科学	1・2・3・4		2	
	プログラミング	2・3・4		2	
	データベース	2・3・4		2	
	AI・機械学習入門	2・3・4		2	令和6年度以降の入学生は履修できない 令和6年度新規開講(令和6年度以降の入学生が履修できる)
	データ分析	2・3・4		2	
	統計学	1・2・3・4		2	
	地域統計論	1・2・3・4		2	
	計量分析	2・3・4		2	
	社会調査(質的調査)	2・3・4		2	
	社会調査(量的調査)	2・3・4		2	
	地域調査法	2・3・4		2	
	地理情報システム論	2・3・4		2	
	ワークショップ	2・3・4		2	
				2	令和5年度以降の入学生は履修できない

## 2 専門教育科目

## (1) 専門導入科目群

区分	科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
専門導入A	地域政策学入門	1	2		「地域政策学入門」および「初年次ゼミ」を必修とし、その他に選択科目の中から4単位以上選択  平成31年度以降の入学生は履修できない
	初年次ゼミ	1	2		
	地域政策を学ぶ	1・2・3・4		2	
	地域づくりを学ぶ	1・2・3・4		2	
	観光政策を学ぶ	1・2・3・4		2	
専門導入B	現代の都市問題	1・2・3・4		2	専門導入Bの中から16単位以上選択
	都市政策論	1・2・3・4		2	
	現代の農村問題	1・2・3・4		2	
	農業経済学	1・2・3・4		2	
	国際経済学	1・2・3・4		2	
	国際関係論	1・2・3・4		2	
	地域経済論	1・2・3・4		2	
	経済政策論	1・2・3・4		2	
	地域政策論	1・2・3・4		2	
	地方政治論	1・2・3・4		2	
	地域づくり論	1・2・3・4		2	
	マーケティング	1・2・3・4		2	
	地域循環共生論	1・2・3・4		2	
	地域環境論	1・2・3・4		2	
	地域医療保健論	1・2・3・4		2	
	社会福祉論	1・2・3・4		2	
	地域文化論	1・2・3・4		2	
	文化政策論	1・2・3・4		2	
	地域社会学	1・2・3・4		2	
	生涯学習概論	1・2・3・4		2	
	フィールドワーク入門	1・2・3・4		2	平成31年度新規開講(平成28年度以降の入学生が履修できる)
	観光産業論	1・2・3・4		2	
	観光政策論	1・2・3・4		2	
	観光経営論	1・2・3・4		2	
	社会起業論	1・2・3・4		2	
	多文化共生論	1・2・3・4		2	
	国際観光論	1・2・3・4		2	
	観光資源論	1・2・3・4		2	
	観光地理学	1・2・3・4		2	
観光学概論	1・2・3・4		2	平成30年度新規開講 令和5年度新規開講(令和5年度以降の入学生が履修できる)	
観光地域調査演習	1・2・3・4		2		



## (2) 専門基礎科目群

区分	科目	配当 年次	単位数		備考
			必修	選択	
地域 政策 専門 基礎 科目	都市経済学	2・3・4		2	所属学科の科目から12単位以上 を含め24単位以上選択
	ランドスケープ論	2・3・4		2	
	都市地理学	2・3・4		2	
	都市計画学	2・3・4		2	
	農業・農村政策論	2・3・4		2	
	アメリカ社会と歴史	2・3・4		2	
	開発経済学	2・3・4		2	
	国際交流史	2・3・4		2	
	産業政策論	2・3・4		2	
	財政学	2・3・4		2	
	公共政策論	2・3・4		2	
	政策科学	2・3・4		2	
	現代政治論	2・3・4		2	
	地方自治論	2・3・4		2	
	民法総則	2・3・4		2	
行政法総論	2・3・4		2		
現代の法思想	2・3・4		2		
地域 づくり 専門 基礎 科目	キャリアデザイン論	2・3・4		2	令和2年度新規開講  平成31年度新規開講(平成28 年度以降の入学生が履修できる) 平成31年度新規開講(平成28 年度以降の入学生が履修できる)
	経営分析	2・3・4		2	
	オペレーションズ・リサーチ	2・3・4		2	
	地域マーケティング	2・3・4		2	
	アグリビジネス論	2・3・4		2	
	環境科学	2・3・4		2	
	環境経済学	2・3・4		2	
	人類生態学	2・3・4		2	
	高齢者福祉論	2・3・4		2	
	児童福祉論	2・3・4		2	
	日本文化論	2・3・4		2	
	文化社会学	2・3・4		2	
	地域史史料講読	2・3・4		2	
	コミュニティ振興論	2・3・4		2	
	社会教育論	2・3・4		2	
	スポーツ政策論	2・3・4		2	
	教育政策論	2・3・4		2	
社会調査演習	2・3・4		2		
ファシリテーション演習	2・3・4		2		

観光政策専門基礎科目	観光経済学	2・3・4		2	令和5年度以降の入学生は履修できない 令和5年度新規開講(令和5年度以降の入学生が履修できる)  令和5年度以降の入学生は履修できない  令和2年度新規開講(平成28年度以降の入学生が履修できる)
	観光経済論	2・3・4		2	
	観光社会学	2・3・4		2	
	交通政策論	2・3・4		2	
	観光リゾート計画論	2・3・4		2	
	サービスマネジメント	2・3・4		2	
	NPO論	2・3・4		2	
	異文化コミュニケーション	2・3・4		2	
	文化人類学	2・3・4		2	
	イギリス現代文化論	2・3・4		2	
	観光文化政策論	2・3・4		2	
	地産地消・スローフード論	2・3・4		2	
	農村地理学	2・3・4		2	
	観光まちづくり論	2・3・4		2	
特別講義	高崎市の課題と政策	2・3・4		2	令和3年度新規開講(平成29年度以降の入学生が履修できる)  令和5年度新規開講(令和2年度以降の入学生が履修できる)
	防災政策論	2・3・4		2	
	資本市場の役割と証券投資	2・3・4		2	
	地方分権論	2・3・4		2	
	市民生活と法	2・3・4		2	
	特別講義「世界と日本の未来を考える」	1・2・3・4		2	
	グループ研究Ⅰ	1・2・3・4		2	
	グループ研究Ⅱ	1・2・3・4		2	
	データサイエンス入門	1・2・3・4		2	

## (3) 専門発展科目群

区分	科目	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
地域政策専門発展科目	国土開発論	3・4		2	所属学科の科目から10単位以上を含め20単位以上選択
	都市経営論	3・4		2	
	住宅政策論	3・4		2	
	都市社会学	3・4		2	
	都市商業論	3・4		2	
	都市再開発論	3・4		2	
	農村土地政策論	3・4		2	
	比較農業政策論	3・4		2	
	フードシステム論	3・4		2	
	森林資源論	3・4		2	
	農村社会学	3・4		2	
	現代欧州の歴史と構造	3・4		2	
	国際政治史	3・4		2	
	マイノリティ論	3・4		2	
	国際法言語論	3・4		2	
	国際協力論	3・4		2	
	民族問題論	3・4		2	
	アジア経済論	3・4		2	
	中小企業論	3・4		2	
	流通経済論	3・4		2	
	地域金融論	3・4		2	
	産業組織論	3・4		2	
	雇用政策論	3・4		2	
	産業立地論	3・4		2	
	政治過程論	3・4		2	
	地域行政論	3・4		2	
	政策評価論	3・4		2	
	地方財政論	3・4		2	
	行政経営論	3・4		2	
	行政法各論	3・4		2	
	地方自治法	3・4		2	
	物権法	3・4		2	
	債権法	3・4		2	
	環境法	3・4		2	
ビジネス法	3・4		2		
会社法	3・4		2		
社会思想	2・3・4		2		
理論社会学	2・3・4		2		

地域づくり専門 発展科目	コミュニティビジネス論	3・4		2	
	財務会計論	3・4		2	
	内発的発展論	3・4		2	
	協同組合論	3・4		2	
	事業再生論	3・4		2	
	環境政策論	3・4		2	
	環境経営論	3・4		2	
	環境社会学	3・4		2	
	環境教育論	3・4		2	
	家庭福祉論	3・4		2	
	司法福祉論	3・4		2	
	社会福祉と権利擁護	3・4		2	令和6年度以降の入学生は履修できない 令和6年度新規開講(令和6年度以降の入学生が履修できる)
	地域福祉論	3・4		2	
	公的扶助論	3・4		2	
	ケアシステム論	3・4		2	
	福祉援助技術論	3・4		2	
	障害者福祉論	3・4		2	
	ジャーナリズム論	3・4		2	
	日本地域史	2・3・4		2	
	地域社会史	2・3・4		2	
	アーツマネジメント論	2・3・4		2	
	博物館概論	2・3・4		2	
	博物館経営論	2・3・4		2	
	博物館資料論	2・3・4		2	
	博物館情報・メディア論	2・3・4		2	
	博物館資料保存論	2・3・4		2	
	博物館教育論	2・3・4		2	
	博物館展示論	2・3・4		2	
	スポーツ指導者養成論	2・3・4		2	
	地域づくり教育論	2・3・4		2	
	地域教育ガバナンス論	2・3・4		2	
	地域社会教育支援論	2・3・4		2	令和2年度新規開講
社会教育課題研究	2・3・4		2	令和2年度新規開講	
社会教育活動	2・3・4		2		
社会教育演習	2・3・4		2	令和2年度新規開講	
社会心理学	2・3・4		2		
現代経済学	2・3・4		2		

観光政策専門発展科目	景観計画論	3・4		2	令和5年度以降の入学生は履修できない
	観光交通論	3・4		2	
	観光経営関連法規	2・3・4		2	
	観光旅行関連法規	2・3・4		2	
	ユニバーサルデザイン論	3・4		2	
	旅行者行動論	3・4		2	
	観光マーケティング論	3・4		2	
	ツアープランニング論	3・4		2	
	ホスピタリティ論	3・4		2	
	イベント観光論	3・4		2	
	観光情報論	3・4		2	
	アメリカの文化と観光	3・4		2	
	ヨーロッパの文化と観光	3・4		2	
	アジアの文化と観光	3・4		2	
	オセアニアの文化と観光	3・4		2	
	観光プロモーション論	3・4		2	
	産業観光論	3・4		2	
	アーバンツーリズム	3・4		2	
	エコツーリズム	3・4		2	
観光開発関連法	3・4		2		
地域資源論	3・4		2		
地域振興論	3・4		2		
外国史	2・3・4		2		
地誌	2・3・4		2		
実習	インターンシップ	3		1	平成30年度以降の入学生の単位数は4単位とする ※観光政策学科の学生のみ選択可 ※令和4年度以降の入学生は履修できない
	ホスピタリティ実習	3		5	
演習	基礎演習	2	2		平成30年度新規開講(平成30年度以降の入学生のみ履修可) 平成30年度以降の入学生は、基礎演習を修得済であること 演習 I を修得済であること
	演習 I	3	4		
	演習 II	4	4		
卒業論文	卒業論文	4	4		

別表第2（第3条関係）

令和4年度以降の入学生に適用する教職課程の科目

(1) 教科及び教職に関する科目

① 地域政策学科 中学校教諭一種免許状（社会）

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		概要
				必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史・外国史	日本史（古代～近世）	1・2・3・4	2	
			日本史（近現代）	1・2・3・4	2	
			外国史	2・3・4	2	
			歴史学	1・2・3・4		2
			考古学	1・2・3・4		2
			アメリカ社会と歴史	2・3・4		2
			国際交流史	2・3・4		2
			地域史史料購読	2・3・4		2
			日本地域史	2・3・4		2
			地域社会史	2・3・4		2
			現代欧州の歴史と構造	3・4		2
			国際政治史	3・4		2
			アジアの文化と観光	3・4		2
			オセアニアの文化と観光	3・4		2
	地理学（地誌を含む。）	地理学	1・2・3・4	2		
		自然地理学	1・2・3・4	2		
		地誌	2・3・4	2		
		地球環境学	1・2・3・4		2	
		観光地理学	1・2・3・4		2	
		地理情報システム論	2・3・4		2	
		ランドスケープ論	2・3・4		2	
		都市地理学	2・3・4		2	
		環境科学	2・3・4		2	
		人類生態学	2・3・4		2	
		観光リゾート計画論	2・3・4		2	
		農村地理学	2・3・4		2	
		民族問題論	3・4		2	
		アーバンツーリズム	3・4		2	
	エコツーリズム	3・4		2		
	地域振興論	3・4		2		
	「法律学、政治学」	現代政治論	2・3・4	2		
		現代の法思想	2・3・4	2		
		公共政策論	2・3・4		2	
		民法総則	2・3・4		2	
	「社会学、経済学」	理論社会学	2・3・4	2		
		開発経済学	2・3・4		2	
		財政学	2・3・4		2	
		流通経済論	3・4		2	
		雇用政策論	3・4		2	
		地方財政論	3・4		2	
	「哲学、倫理学、宗教学」	社会思想	2・3・4	2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2		
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	1・2・3・4	2		
		社会科・公民科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2		
社会科・公民科教育法Ⅱ		1・2・3・4	2			

教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②	1科目選択必修
		教育学	1・2・3・4		②	
		教育と社会	1・2・3・4		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2		
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	1・2・3・4		②
	教育政策論		2・3・4		②	
	生涯学習概論		1・2・3・4		2	
	地域づくり教育論		2・3・4		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1科目選択必修
		発達心理学	1・2・3・4		②	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2			
教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2			
道徳、総合的な学習の時間、関係する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育論	1・2・3・4	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2		
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2		
	教育の方法及び技術	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術と教育	2・3・4	2		
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 I	4	5		
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目	介護等体験実習	2・3・4	1			

	教職基礎演習	2・3・4		2	
--	--------	-------	--	---	--

② 地域政策学科 高等学校教諭一種免許状（公民）

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		概要		
				必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	現代政治論	2・3・4	2				
		現代の法思想	2・3・4	2				
		公共政策論	2・3・4		2			
		地方自治論	2・3・4		2			
		民法総則	2・3・4		2			
		行政法総論	2・3・4		2			
		政治過程論	3・4		2			
		行政法各論	3・4		2			
		地方自治法	3・4		2			
		物権法	3・4		2			
		債権法	3・4		2			
		環境法	3・4		2			
		「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	理論社会学	2・3・4	2			
			現代経済学	2・3・4	2			
			都市経済学	2・3・4			2	
			開発経済学	2・3・4			2	
			財政学	2・3・4			2	
			文化社会学	2・3・4			2	
			都市社会学	3・4			2	
			アジア経済論	3・4			2	
	流通経済論		3・4		2			
	雇用政策論		3・4		2			
	地方財政論		3・4		2			
	環境社会学	3・4		2				
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	社会思想	2・3・4	2				
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・公民科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2				
		社会科・公民科教育法Ⅱ	1・2・3・4	2				
	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②	1科目選択必修	
			教育学	1・2・3・4		②		
			教育と社会	1・2・3・4		2		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2			
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育経営論	1・2・3・4		②	1科目選択必修		
		教育政策論	2・3・4		②			
		生涯学習概論	1・2・3・4		2			
		地域づくり教育論	2・3・4		2			
		教育制度論	1・2・3・4		2			



	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1科目選択 必修
		発達心理学	1・2・3・4		②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2		
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2		
	教育の方法及び技術	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術と教育	2・3・4	2		
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2			
教育する実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4		⑤	1科目選択 必修
		教育実習Ⅱ	4		③	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目	道徳教育論	1・2・3・4		2		
	教職基礎演習	2・3・4		2		

③ 地域づくり学科 高等学校教諭一種免許状（公民）

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		摘要
				必修	選択	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	現代政治論	2・3・4	2		
		現代の法思想	2・3・4	2		
		行政学	1・2・3・4		2	
		比較憲法論	1・2・3・4		2	
		法哲学	1・2・3・4		2	
		犯罪と法	1・2・3・4		2	
		労働と法	1・2・3・4		2	
		地域政策論	1・2・3・4		2	
		地方政治論	1・2・3・4		2	
		文化政策論	1・2・3・4		2	
		観光政策論	1・2・3・4		2	

		公共政策論	2・3・4		2			
		地方自治論	2・3・4		2			
		民法総則	2・3・4		2			
		行政法総論	2・3・4		2			
		政治過程論	3・4		2			
		地方自治法	3・4		2			
		債権法	3・4		2			
		環境政策論	3・4		2			
		「社会学、経済学 (国際経済を含む。)」	現代経済学	2・3・4	2			
			地域マーケティング	2・3・4			2	
			環境経済学	2・3・4			2	
			文化社会学	2・3・4			2	
			コミュニティ振興論	2・3・4			2	
			コミュニティビジネス論	3・4			2	
	環境社会学		3・4		2			
	家庭福祉論		3・4		2			
	環境教育論	3・4		2				
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	社会心理学	2・3・4	2				
	各教科の指導法（情報通 信技術の活用を含む。）	社会科・公民科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2				
社会科・公民科教育法Ⅱ		1・2・3・4	2					
教育の基礎的 理解に関する科目	教育の理念並びに教育に 関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②	1科目選 択必修		
		教育学	1・2・3・4		②			
		教育と社会	1・2・3・4		2			
	教職の意義及び教員の役 割・職務内容（チーム学 校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2				
	教育に関する社会的、制 度的又は経営的事項（学 校と地域との連携及び学 校安全への対応を含む。）	教育経営論	1・2・3・4		②	1科目選 択必修		
		教育政策論	2・3・4		②			
		生涯学習概論	1・2・3・4		2			
		地域づくり教育論	2・3・4		2			
	幼児、児童及び生徒の心 身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1科目選 択必修		
		発達心理学	1・2・3・4		②			
	特別の支援を必要とする 幼児、児童及び生徒に対 する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2				
	教育課程の意義及び編成 の方法（カリキュラム・ マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2				
	総合的な学習の時間の指 導法	総合的な学習の時間の 指導法	1・2・3・4	2				
特別活動の指導法		特別活動	1・2・3・4	2				

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	教育方法学	1・2・3・4	2		
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術と教育	2・3・4	2		
	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4		⑤	1科目選択必修
		教育実習Ⅱ	4		③	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目		道徳教育論	1・2・3・4		2	
		教職基礎演習	2・3・4		2	

④ 観光政策学科 高等学校教諭一種免許状（地理・歴史）

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	配当年次	単位数		摘要	
				必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	日本史	日本史（古代～近世）	1・2・3・4	2		
			日本史（近現代）	1・2・3・4	2		
			歴史学	1・2・3・4		2	
			考古学	1・2・3・4		2	
			地域史史料購読	2・3・4		2	
			日本地域史	2・3・4		2	
			地域社会史	2・3・4		2	
		外国史	外国史	2・3・4	2		
			アジアの文化と観光	3・4		2	
			オセアニアの文化と観光	3・4		2	
		人文地理学・自然地理学	地理学	1・2・3・4	2		
			自然地理学	1・2・3・4	2		
			地域統計論	1・2・3・4		2	
			観光地理学	1・2・3・4		2	
			民族問題論	3・4		2	

			地理情報システム論	2・3・4		2	
			ランドスケープ論	2・3・4		2	
			都市地理学	2・3・4		2	
			農村地理学	2・3・4		2	
			地域調査法	2・3・4		2	
			産業立地論	3・4		2	
			アーバンツーリズム	3・4		2	
			エコツーリズム	3・4		2	
			地域振興論	3・4		2	
		地誌	地誌	2・3・4	2		
		観光リゾート計画論	2・3・4		2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	1・2・3・4	2			
		社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	1・2・3・4	2			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1・2・3・4		②	1科目選択必修	
		教育学	1・2・3・4		②		
		教育と社会	1・2・3・4		2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職原論	1・2・3・4	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営論	1・2・3・4		②	1科目選択必修	
		教育政策論	2・3・4		②		
		生涯学習概論	1・2・3・4		2		
		地域づくり教育論	2・3・4		2		
	教育制度論	1・2・3・4		2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	1・2・3・4		②	1科目選択必修	
		発達心理学	1・2・3・4		②		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育	1・2・3・4	2			
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	カリキュラム論	1・2・3・4	2			
道徳、総合的な学習の時間等の談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	1・2・3・4	2			
	特別活動の指導法	特別活動	1・2・3・4	2			
	教育の方法及び技術	教育方法学	1・2・3・4	2			
		教育測定及び方法	1・2・3・4		2		
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	情報通信技術と教育	2・3・4	2				

指導法及び生徒指導、教育相談	生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	1・2・3・4	2		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	1・2・3・4	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ	4		⑤	1科目選択必修
		教育実習Ⅱ	4		③	
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4	2		
大学が独自に設定する科目		道徳教育論	1・2・3・4		2	
		教職基礎演習	2・3・4		2	

(2) 免許法施行規則第66条の6で定める科目

別表第1に定める授業科目のうちから次のとおり指定する。

免許法施行規則第66条の6に定める科目	左記に対応する科目として指定する科目	単位数	摘要
日本国憲法	憲法	2	必修
体育	スポーツ科学Ⅰ	1	「スポーツ科学Ⅰ、スポーツ科学Ⅱ」又は「スポーツ科学」のいずれかを選択
	スポーツ科学Ⅱ	1	
	スポーツ科学	2	
外国語コミュニケーション	Business EnglishⅠ	2	1科目選択必修
	Business EnglishⅡ	2	
情報機器の操作	情報基礎Ⅰ	2	1科目選択必修
	情報基礎Ⅱ	2	
	プログラミング	2	
	データ分析	2	
	データベース	2	令和6年度以降の入学生は履修できない

別表第3（第30条関係）

平成25年度以降の入学生に適用する学芸員資格に関する科目及び最低修得単位

法定科目	単位	本学科目	配当年次	単位	必修・選択	必要単位
生涯学習概論	2	生涯学習概論	1・2・3・4	2	必修	2
博物館概論	2	博物館概論	2・3・4	2	必修	2
博物館経営論	2	博物館経営論	2・3・4	2	必修	2
博物館資料論	2	博物館資料論	2・3・4	2	必修	2
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2・3・4	2	必修	2
博物館展示論	2	博物館展示論	2・3・4	2	必修	2
博物館教育論	2	博物館教育論	2・3・4	2	必修	2
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2・3・4	2	必修	2
博物館実習	3	博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ	3 4	1 3	必修 (博物館実習Ⅰ・Ⅱ は連続履修)	4
選択科目※		歴史学 民俗学 考古学 日本史（古代～近世） 日本史（近現代） 美学 西洋美術史 東洋美術史 地域文化論 文化政策論 日本文化論 文化社会学 地域史史料講読 日本地域史 地域社会史 アーツマネジメント論	1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択 選択	—

※選択科目の中から任意の科目を4科目以上選択し、履修すること。

## 別表第4（第30条関係）

令和元年度以降の入学生に適用する社会教育主事資格に関する科目及び最低修得単位数

法定科目	単位	本学科目	配当年次	単位	必修・選択	必要単位
生涯学習概論	4	生涯学習概論 社会教育論	1・2・3・4 2・3・4	2 2	必修	4
生涯学習支援論	4	地域社会教育支援論 社会教育活動	2・3・4 2・3・4	2 2	必修	4
社会教育経営論	4	地域づくり教育論 地域教育ガバナンス論	2・3・4 2・3・4	2 2	必修	4
社会教育特講	8	高齢者福祉論 多文化共生論 障害者福祉論 地域医療保健論 地球環境学 生徒・進路指導論 キャリアデザイン論 ジェンダー論 公的扶助論 文化政策論 スポーツ指導者養成論 スポーツ政策論 地域文化論 NPO論 コミュニティビジネス論 博物館概論 教育相談 教育政策論	2・3・4 1・2・3・4 3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 2・3・4 1・2・3・4 3・4 1・2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4 3・4 1・2・3・4 1・2・3・4 2・3・4	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	4科目8 単位以上 選択	8
社会教育実習	1	社会教育実習	3・4	2	必修	1
社会教育演習 社会教育実習 社会教育課題研究 のうち一以上の科目	3	社会教育実習 ファシリテーション演習 社会教育演習 社会教育課題研究	3・4 2・3・4 2・3・4 2・3・4	2 2 2 2	2科目3 単位以上 選択	3